

永畑町二丁目第2公園（仮称）

ワークショップだより

第3回

八尾市 都市整備部
土木建設課
令和5年11月

9月から3回にわたる「最も身近な公園づくりワークショップ」の最終回が、11月5日に18名の参加で行われました。今回も保育コーナーを利用して、子育て中のパパ・ママにもご参加いただきました。

ワークショップをふり返ると、みなさんが新しく生まれる公園でしたいコト、それを実現するためにあるといいモノを出し合ったのが9月。翌月には公園の間取りや取り入れたい施設のイメージを共有しました。これらの合意の積み重ねを経て、第3回では、これまで出された多くのアイデアを盛り込んだプランをお披露目し、内容を確認、共有しました。

今回はさらに、公園の完成後にどうやって公園を育てていくのか、健康と交流を支え、憩いの場、子育ての場になる安心の公園になるために、どうすればよいのかを話し合い、その内容を全体で共有しました。

多くのみなさんが、「楽しかった」「役立つものがあった」と感じておられ、全員が公園の誕生を「楽しみ」にしていってました。



永畑町二丁目第2公園（仮称）整備事業
●事業位置：八尾市永畑町二丁目地内
●面積：約2,000㎡
●公園種別：街区公園
●整備スケジュール
令和5年度：ワークショップ開催
および実施設計
令和6年度：公園整備工事

第3回ワークショップの内容

- ① ワークショップって、公園って何でしたっけ
- ② これまでのワークショップのふり返り
- ③ 公園のプランを共有しよう
- ④ 公園の育て方を考えよう
- ⑤ ワークショップのまとめ

ワークショップの流れ

今回で最終回となるワークショップですが、各回のゴールと全体の流れはどうなりましたっけ。

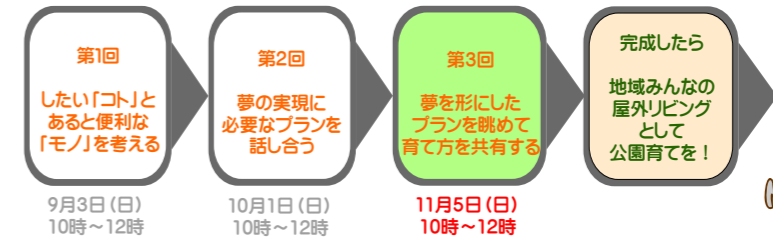
ワークショップ全体の整理

最初に、「ワークショップとは」「公園とは」について、基本的な内容を全員で確認し、共有しました。そして、新しく生まれる公園でしたい「コト」と、そのためにあると便利な「モノ」を共有。これらの夢を実現するための公園の間取りについて話し合い、あると便利な「モノ」について、イメージ写真を使って思いを表現し、共有するワークを楽しみました。

そして今回は、間取りの合意案を基に、イメージした施設をできるだけ盛り込んだプランとしてお披露目し、全体で共有しました。計画案は裏面に載せています。バスケットゴールでも遊べるプランとしていますが、地域の公園として、ボール遊びを受け入れるかどうかを話し合う必要があるため、当日はワークショップとしての現時点でのアイデアを共有するワークを行いました。

さらに、できあがった公園が「まちのリビング」として成長していくように、グループワークで公園育てのアイデアを話し合い、発表を通して全体で共有しました。裏面には、この内容も整理しています。

最初から最後まで、本当にたくさんのアイデアが生み出され、協働のパワーが発揮されたワークショップになりました。



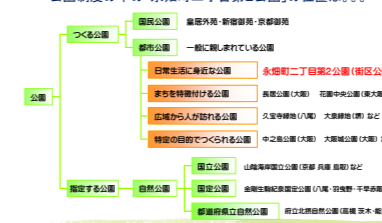
永畑町二丁目第2公園 第1回ワークショップへ ようこそお越しいただきました

今日は
どうぞよろしくお願ひします

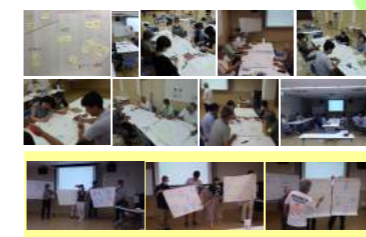


Session1 公園って何だろう？

●公園制度の中の「永畑町二丁目第2公園」の位置は...



Session2 ふりかえり～グループの活動～



Session2 ふりかえり～第2回の活動～

ボール遊びをどうする？ ルールのアイデア

- 【行為】
 - ・ボール遊びそのものを禁止
 - ・迷惑行為の禁止
 - ・占領しない(試合の禁止)
 - ・バスケットゴールは夜使われる
- 【年齢】
 - ・小学生以下だけ
 - ・大人と一緒に遊ぶ
- 【場所】
 - ・ボール遊びの場所の限定
- 【道具】
 - ・堅いボールの禁止
 - ・堅い遊び道具の禁止
 - ・堅いバットの禁止
- 【種類】
 - ・ゲートボールのみ可とする
- 【時間】
 - ・時間を決める
 - ・日中のみ
 - ・午後6時まで
 - ・9時～18時
- 【施設】
 - ・防球フェンスの設置
 - ・防音フェンスも必要



永畑町二丁目第2公園
第3回ワークショップへ
のご参加お疲れさまでした

新しく生まれる公園が
地域の宝物として育てていくことを
楽しみにしています

● 合意案を具体化した公園プラン

ワークショップで創り出され共有されたアイデアを、最大限に盛り込んだプランを共有しました。写真は主な施設のイメージです。バスケットゴールなど、ボール遊びを地域の公園として、ルールを作って受け入れるかどうか、それに伴う防球ネットの要不要なども含め、ワークショップや地域からの提言を基に、さまざまな条件から最終プランが決まっています。

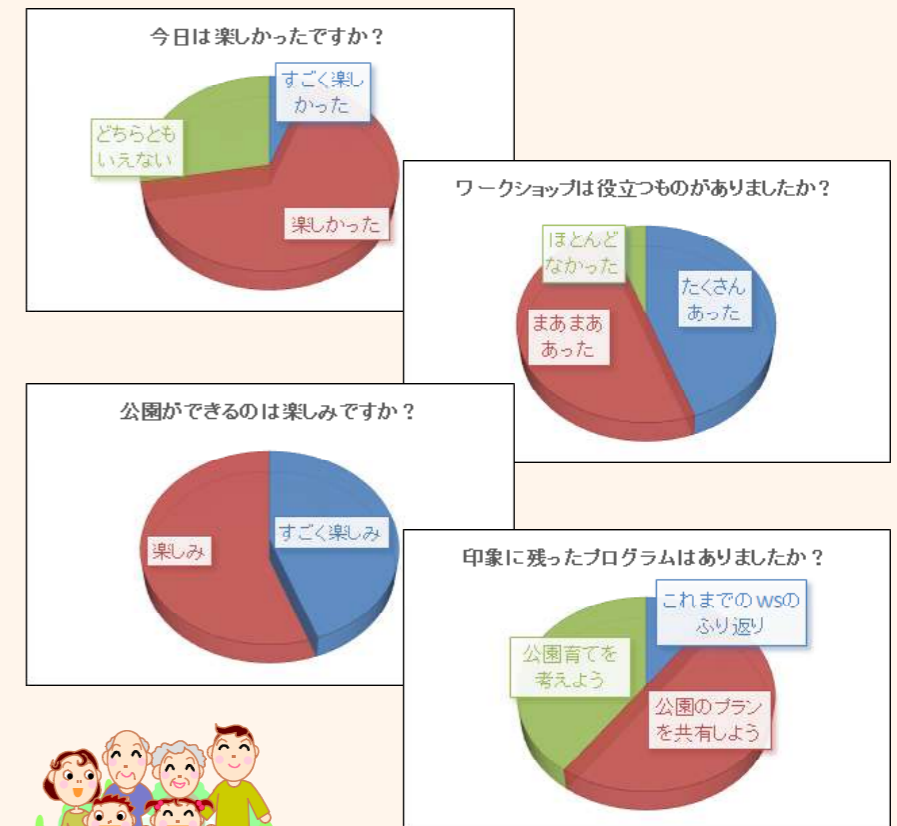


● ワorkshopで提案された公園育てのアイデア

公園が地域の宝ものとなるよう、どのような育て方が考えられるかについて、グループワークを行い、発表を通してワークショップメンバー全員のアイデアとして共有しました。その成果を整理します。左に寄るほど育てる公園のイメージに、右に寄るほど具体的なメニューに近づくよう整理しています。

安心の公園に育てる	公園を見守る(近隣住民として)	公園に顔を出す	公園に遊びに行く	公園に顔を出す	休みの日に一度は様子を見に行く
		公園に遊びに行く		公園に遊びに行く	大人がパトロール(見回り)する
				公園に散歩に行く	休日に公園で弁当を楽しむ
					マルシェ
楽しい公園に育てる	イベントを楽しむ(年2回以上)	地域イベントを楽しむ	季節イベントを楽しむ	健康イベントを楽しむ	フリーマーケット
					公園デビュー
					お花見
					春や秋の種まき
					植樹
					ラジオ体操(豆休みは子ども)
					高齢者と子どもの交流
					春や秋の種まき
					水やり
					雑草をなくす(除草)
					定期的な地域清掃
					地域で掃除当番
美しい公園に育てる	キレイな公園を楽しむ	花・植物で美しさを楽しむ	キレイな公園を楽しむ	美しさを拒む要素を取り除く	みんなで掃除を楽しむ
					ごみ拾い
					たまに掃除
					お掃除ピクニック
					猫や鳥に顔をやらない
					ルールづくり

第3回ワークショップはどんな印象でしたか？



ワークショップには、30代以上の各世代が参加されており、30代が半数、40代が1割と、子育て世代が多くを占める結果となりました。

ワークショップについては、7割を超える参加者が楽しめた、9割以上が気づきや発見があったと感じておられ、これから生まれる公園について考えるなかで、全員が公園の誕生を楽しみにされているようです。

プログラムの中では、公園のプランの共有や、これからの公園育ての話合いが印象に残ったと感じる人が多かったようです。

今後の予定

この紙面でお伝えしたとおり、これまで3回のワークショップを開催し、ワークショップとしてのアイデアを提案していただきました。

これらの内容と、ボール遊びについての地域の考え方などを受けて、公園管理者として最終的なプランを決定し、工事に向けて設計を進めていきます。来年度の完成をお楽しみに。

ワークショップや公園整備については、下記までお問い合わせください。

問合せ先: 八尾市都市整備部土木建設課
担当: 太田(おおた) 072-924-3879